

おかげさま

動画リンク: <https://youtu.be/f-ZMczgsymc>

今回は「おかげさま」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字にはふりがながあります。
後半は少しだけ速く（+20%）なり、漢字にふりがなはありません。
学習にお役立てください。

「おかげさま」という言葉は、日本語の中でも特にうつくしい表現のひとつです。この言葉には、ただ「ありがとう」と感謝を伝えるだけでなく、周りの人や環境、そして見えない力に支えられているという日本の文化がたくさん詰まっています。この動画では、「おかげさま」がどのような意味を持ち、どんな場面で使われるかを詳しく見ていきましょう。日常の中で、この素敵な言葉をぜひ使ってみてください。

■おかげさまの意味

「おかげさま」という言葉は、日本語でよく使われる表現です。
もともと「おかげ」という言葉は、昔は神さまや仏さまが助けてくれたことを意味していました。しかし、今では、相手に対して感謝の気持ちを伝える表現として広く使われています。

この言葉には、自分ひとりの力ではなく、他の人や周りの環境、そして運などによって助けられている、という感謝の気持ちが込められています。日本では、誰かに助けってもらったときや、良い結果が出たときに「おかげさまで」と言うことで、その感謝を表します。

「おかげ」という言葉は、誰かからの助けや影響を意味します。「さま」は敬意を表す言葉です。ですから、「おかげさま」とは、他の人に感謝を込めた丁寧な言い方です。

例えば、「みんなのおかげで、今日も元気です」と言うことで、周りのサポートや良い環境に感謝していることが伝わります。

みなさんは、「おかげさま」という言葉を使ったことがありますか？日本の文化において、この言葉をどのように使うかを理解することは大切です。もし、誰かに助けてもらったとき、この言葉を使ってくださいね！

コメント欄で、みなさんが「おかげさま」をどんな場面で使うか教えてくださいね！

■ 日常の使い方

「おかげさま」は、日常のいろいろな場面で使うことができます。たとえば、誰かに「元気ですか？」と聞かれたとき、「おかげさまで元気です」と答えることがあります。この言葉には、ただ「元気です」と言うだけではなく、周りの人や環境に支えられていることへの感謝も含まれています。日本では、これはとても丁寧なあいさつとしてよく使われます。

また、何か大きなことを達成したときにも「おかげさま」が使われます。たとえば、仕事や勉強で成功したとき、「みなさんのおかげでプロジェクトがうまくいきました」と言います。このように、自分だけでなく、周りの人のサポートがあったことを伝えるときに使います。

さらに、何か困難なことを乗り越えたときにも「おかげさま」が役立ちます。たとえば、「おかげさまで無事に問題を解決できました」ということで、助けてくれた人への感謝を表すことができます。

「おかげ」と「おかげさま」は、ほとんど同じ意味ですが、使い方には少し違いがあります。

「おかげ」は、少しカジュアルな言い方で、友達や同僚や親しい人との会話で使われることが多いです。文章の途中で使います。たとえば、「君のおかげで助かったよ」と言うと、相手に感謝の気持ちを伝えながらも、気軽な感じになります。

一方、「おかげさま」は、より丁寧な言い方です。「おかげさま」は文の始まりにだけ使うことができる表現です。特に、目上の人やあまり親しくない相手に感謝を伝えるときに使います。たとえば、仕事の場面では「おかげさまでプロジェクトがうまくいきました」と使うのが一般的です。この言い方には、自分ひとりの力だけでなく、周りの人の助けがあったことを強調する意味も含まれています。

「おかげさま」を使うとき、どんな場面が思い浮かびますか？

「おかげ」や「おかげさま」を使って文章をつくり、コメント欄で、みなさんの経験を教えてくださいね！

■おかげさまの文化背景

「おかげさま」という言葉には、長い日本の文化が反映されています。日本では、感謝の気持ちをとて大切になります。これは、日常の小さなことから大きなことまで、常に周りの人や環境に支えられているという考え方が根づいているからです。たとえば、食事をするとき「いただきます」と言って感謝するのも、こうした文化のひとつです。

「おかげさま」は、ただ「ありがとう」と言うのとは少し違います。「ありがとう」は、直接相手に感謝を伝える言葉ですが、「おかげさま」はもっと広い意味で、周りの人だけでなく、環境や運、そして時には目に見えないものに対する感謝を表す言葉です。このため、「おかげさま」には、謙虚な気持ちも含まれています。謙虚というのは、自分を偉い人間だと思わずに、たくさん学ぶことです。

たとえば、健康な体でいることも、「おかげさまで」と言います。これは、健康でいられるのは自分の努力だけではなく、家族や友人の支え、医者のおかげ、そして自然の恵みがあるからだ、という意味です。このように、「おかげさま」という言葉は、日本人にとってとても大切な感謝の気持ちを表す特別な表現です。

みなさんも、何かに感謝したいとき、「おかげさま」という言葉を使ってみてください。みなさんがこの言葉をどのように使うか、ぜひコメント欄で教えてくださいね！

■「おかげさま」と他の似ている表現の違い

「おかげさま」と似ている表現として、「ありがとう」や「すみません」がありますが、使い方や意味が少し違います。それぞれの表現がどのように異なるのか、見てみましょう。

まず、「おかげさま」と「ありがとう」の違いについて説明します。「ありがとう」は、特定の相手に対して感謝を直接伝えるときに使います。たとえば、誰かにプレゼントをもらったり、助けてもらったときに「ありがとう」と言います。

いっぽう、「おかげさま」は、もっと広い意味を持っています。周りの人や環境、そして運などに対しても感謝する表現です。具体的な誰かに感謝するのではなく、「みんなのおかげ」「いろいろな助けのおかげで」といった意味を込めて使います。

次に、「おかげさま」と「すみません」の違いを考えてみましょう。「すみません」は、謝るときに使う言葉として知られていますが、日本語では感謝を伝えるときにも使われます。特に、自分が相手に迷惑をかけたと感じたときや、手間をかけさせたときに「すみません」と言います。「おかげさま」は、謝る気持ちがなく、純粋に感謝を伝えるための表現です。

このように、「おかげさま」は他の感謝の言葉とは少し異なる使い方をします。状況に応じて、適切な表現を使い分けると、より深い感謝の気持ちを相手に伝えることができます。

みなさんも、これらの表現の違いを感じたことはありますか？ぜひコメント欄で教えてくださいね！

■「おかげさま」がよく使われる場面

「おかげさま」という言葉は、日常生活や仕事の中でよく使われる表現です。特に、感謝を丁寧に伝えたいときに使われます。どのような場面で使われるか、いくつか例を見てみましょう。

まず、ビジネスの場面です。たとえば、会社で上司や取引先の人に「おかげさまで、プロジェクトがうまくいきました」と伝えることがあります。このように、周りの人のサポートや協力があったおかげで、物事が順調に進んだと感謝を表すときに使います。

次に、電話やメールでのやりとりの中でも「おかげさま」はよく使われます。たとえば、体調を気遣う言葉をかけられたときに「おかげさまで、元気です」と返事をする場合があります。これは、ただ「元気です」と答えるだけでなく、相手の気遣いに対して感謝を示す丁寧な表現です。

また、日常生活でも使われます。たとえば、友だちに何かを助けてもらったときに「君のおかげで、うまくいったよ！」と言うことで、感謝の気持ちを伝えることができます。

このように「おかげ」や「おかげさま」は、ビジネスでもプライベートでも幅広く使える便利な表現です。感謝の気持ちを込めて使うことで、相手に対して丁寧な印象を与えることができます。

みなさんは、どんな場面で「おかげさま」を使いますか？コメント欄でぜひ教えてくださいね！

「おかげさま」という言葉には、日本人の感謝の気持ちと謙虚さが表れています。日常生活やビジネスシーンで、感謝を丁寧に伝えるために使われるこの言葉は、日本の文化を深く理解するためにも大切です。ぜひ、みなさんも日々の中で「おかげさま」を使って、感謝の気持ちを周りの人に伝えてみてくださいね。どんな場面で「おかげさま」を使っているか、ぜひコメント欄で教えてください！

「おかげさま」はいかがでしたか。

コメント欄から感想をみんなに教えてください。

それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

